

よりよき英和辞典のために<続>

Lexicography and Linguistic Theory<continued>

長谷川 ミサ子*
Misako Hasegawa

本稿は、すでに発表されている長谷川ミサ子(1990)「よりよき英和辞典のために」(Lexicography and Linguistic Theory) (共栄学園短期大学研究紀要第6号)の続編である。本稿執筆の趣旨も前回と同様であり、出典や提示の様式など、いずれも、長谷川(1990)を踏襲している。すなわち、項目の提示は、主要語のアルファベット順とし、項目の略語のうち、QはRandolph Quirk, Sidney Greenbaum, Geoffrey Leech & Jan Svartvik(1985)の *A Comprehensive Grammar of the English Language*, Longman, 1779ページを示している。

a

You need a knife, fork, and spoon. (ナイフとフォークとスプーンが必要です。)

[▶ 等位的に結合された名詞句は、最初の冠詞を共有することができる。もちろん、a knife, a fork, and a spoonでもよい。]

Q255

Bob lost a gold watch yesterday, and Bill was wearing a gold watch this morning. (ボブは昨日金時計をなくした。そして、ビルは今朝金時計をしていた。)

[▶ 二つの a gold watch は同一の時計であ

るとは断定されていない。が、話し手はその疑いがあることをほのめかしている。もし二番目の a gold watch を the gold watch とすると、話し手は Bill がその時計を盗んだと断定していることになる。]

Q272

account

on account of

▶ 「... のために」の意。原因・理由を表す表現としては because of よりも形式ばった言い方。

Q696

admit

I admit seeing it. (私はそれを見たことを認めます。)

[▶ この場合、動名詞は過去のことを示す。すなわち、I admit having seen it. と同義となる。]

Q1190

afraid

I'm afraid not. (私はそうではないと思います。)

[▶ Afraid not. という省略形が用いられることはあるが、*Am afraid not. という省略形が用いられることはない。]

Q897

after

After returning home, he took a shower. (帰宅後、彼はシャワーを浴びた。)

[▶ この after は接続詞とも解しうるが、前

置詞と考えるほうがよい.] Q1006

all

all (the) week (1週間ずっと)

[▶ all of the week の形は比較的少ない。否定文脈では I haven't seen him all week (morning, day). 「私はこの1週間(午前中, 今日一日)彼に会っていない」のように, 冠詞のない形が用いられる.] Q259

All men are created equal. (人間はすべて平等に生まれついでいる.)

[▶ 冠詞のついていない「all+名詞」の形は, 総称的な解釈となることが多い。All the men in the mine wore helmets. 「炭坑の中の人々はすべてヘルメットをかぶっていた」の場合は総称的ではなく, 特定のであり, the が必要.] Q259

All Paris welcomed the General. (パリ中の市民が将軍を歓迎した.)

[▶ 「all+地名」で住民全体を示すのはやや形式ばった用法.] Q260

With all this noise I managed to get some sleep. (ひどい騒音にもかかわらず私はなんとか少しは眠れた.)

[▶ 譲歩の意味の場合, all は義務的で省略することはできない。原因を示す場合, all は随意的で, あってもなくてもよい: Will (all) this noise, I couldn't sleep. 「ひどい騒音で眠れなかった」.] Q706

and

There are teachers and teachers. (先生にも(ピンからきりまで)いろいろある.)

[▶ この形で and を用いると「いい先生もあれば, だめな先生もある」の意が出てくる.] Q981

another

I don't like this room. I'd prefer another one. (この部屋は気が進みません。別の部屋のほうがいいです.)

[▶ another one は「どこか別の」という不定のものを指す。I'd prefer the other one. は定で, 「(あのさっき見た)もう一つのほ

うの部屋」の意となる.] Q262

We need another two rooms for the meeting. (我々は会議には, (どこか)もう2部屋必要だ.)

[▶ We need the other two rooms. は「別の(さっき言ったあの)2部屋」の意となる.] Q262

any

You shouldn't give her any flowers. (彼女に花はいっさいやっけてはいけない.)

[▶ この文は下降上昇調で発音されると, 「彼女にはどんな花をやってもよいというわけではない」の意となる.] Q1606

anyone

Doesn't anyone know the answer? (だれかその答えを知らないんですか.)

[▶ Does anyone not know the answer? は別の意味, すなわち, 「その答えを知らない人, いますか」の意となる.] Q810

as

as for

We had a delightful weekend in the country. As for the traffic, we had no difficulty. (我々は田舎で楽しい週末を過ごした。交通のほうといえば何の問題もなかった.)

[▶ 「... について言えば」の意。既出の話題にもどって, それと関連のある事項に言及するときに用いられ, 談話の頭には, 通例用いられない。談話の頭に用いると軽べつ的な含意を伴う.] Q707

as if

The stuffed dog barks as if it were a real dog. (その縫いぐるみの犬は本物の犬のようにわんわんほえる.)

[▶ as if it is a real dog の形も可能.] Q1013

assume

Let's assume our opponents win the election. (我々の相手のほうが選挙に勝つとしてみよう.)

[▶ win の代わりに will win も用いられる.]

Q1008

authoress

▶ 現在では用いられない。代わりに author が用いられる。 Q315

bath

take a bath

▶ 通例 have a bath ともいう。ただし、*The baby's taking a bath. は用いられない。take を用いると、主語の主体性が強く感ぜられ、赤ん坊が独りで入浴していることになるからである。 Q752

be

It's getting dark. (だんだん暗くなってきた。)

[▶ is が [s], [z] に縮約されるのは、主語が代名詞で、is が助動詞用法で、くだけた言い方の場合である。] Q124

Radiation is dangerous. (放射線は危険だ。)

[▶ is が縮約されないのは、主語が名詞で、is が本動詞用法で、文脈がくだけたものではない場合である。] Q124

Ann will be a qualified nurse next year. (アンは来年資格のある看護婦になります。)

／ Mary was angry when she heard about the accident. (事故のことを聞いてメアリーは怒った。)

[▶ これら二例の be は become と同義。]

Q1174

be to

The most severe weather is to come. (気候がいちばん厳しくなるのはこれからだ。)

[▶ 「... はこれからだ」の意。to come の前に yet, still を加えると、未来の意味がさらにはっきりする。] Q143

The committee is to find a solution. (委員会が解決策を見いだすことになっている。)

[▶ 「... することになっている」の意。一見同じに見える The problem is to find a solution. 「問題は解決策を見いだすことにある」は別の構造で、この場合、不定詞は名

詞的で、主格補語となっている。] Q143

because

He is at home, because I've just spoken to him. (彼は家にいますよ。だってぼく今彼と話したばかりなんですから。)

[▶ この場合、コンマが必要。この文は、He's at home. I say this, because ... と同義。He's at home because he's not feeling well. 「彼は気分がすぐれないので家にいます」の場合、コンマはあっても、なくてもよい。] Q1628

bed

be in bed

▶ 「就寝中で」の意。眠ることと関係がある場合は、無冠詞。lie down on the bed 「ベッドに横になる」のような眠りと関係がない場合には the が必要。 Q277

before

I saw him before he had seen me. (私は彼が私を見る前に彼を見た。)

[▶ before 節の過去完了形は「(私が隠れるなどして)彼は私を見なかった(が、私のほうは彼を見た)」という含意がある。] Q1020

between

I'll ring between Thursday and Saturday. (私は木曜日と土曜日の間にお電話しましょう。)

[▶ 「金曜日に」ということではなく、「木・金・土のいつか」ということである。] Q692

bind

be bound to

He was bound to be a failure. (彼は失敗するに決まっていた。)

[▶ これに対応する *Someone bound him to be a failure. のような能動形はないことに注意。] Q144

bit

We don't like it a bit. (それはちっとも好きじゃない。)

[▶ We don't like it a little. の形は「我々はそれが大好きだ」の意となる.] Q1606

both

We were both working late. (我々は二人とも遅くまで働いていた.)

[▶ both を be 動詞の前に置き, We both were working late. とすると容認可能性が低下する.] Q126

both the girls' mother (その二人の少女の母親)

[▶ この場合, both は the girls のみを修飾する. したがって, mother は単数形.]

Q327

both the girl's parents (その少女の両親)

[▶ この場合, both は parents にかかっている. すなわち, both parents of the girl の意.] Q327

Both my wife and my secretary were there. (私の妻も秘書もそこにいた.) / She was both my wife and my secretary. (彼女は私の妻であり秘書でもあった.)

[▶ 主語に both がつくると二人の人物を示し, 補語につくと一人の人物を示す.] Q761

both ... and

▶ both ... and を用いて二つの完全文を結ぶことはできない: *Both Mary washed the dishes and Peter dried them. が, 文以下の要素なら連結することができる: Mary both washed the dishes and dried them. 「メアリーはお皿を洗うことも, ふくこともした」 / Both Mary and Peter washed the dishes. 「メアリーもピーターもお皿を洗った」. Q936-7

Both David and Joan got divorced. (デーヴィッドもジョーンもともに離婚した (だから, 二人はもう結婚することができる, など).)

[▶ both を除き David and Joan got divorced. のようにすると, 「(夫婦であった)デーヴィッドとジョーンは離婚した」の意となる.] Q936

David both loves Joan and wants to marry her. (デーヴィッドはジョーンを愛しているし, 結婚もしたいと思っている.)

[▶ both を除き David loves Joan and wants to marry her. 「デーヴィッドはジョーンを愛しているので, 彼女と結婚したいと思っている」のようになると, 「愛しているので」という因果関係が含意されるようになる.]

Q936

burn

burnt wood ((燃料として) 燃やされた材木 (の量))

[▶ burned wood は「こげた跡のある材木」の意.] Q106

Burns

▶ 属格形は Burns's より Burns' のほうが普通. 発音は [bɜ:nz] より [bɜ:nziz] のほうが普通. Q320

by

I go to work by bus. (私はバスで通勤しています.)

[▶ 冠詞は通例省略されるが, 省略が義務的であるわけではない. 例えば, It's easier to go to town by the bus rather than by the train. 「町へ行くには電車よりもバスのほうが簡単だ」. ただし, 修飾語がつくと the が義務的となる: by the 2 o'clock bus など.] Q700

can

▶ can の否定形は, 縮約形でない場合, cannot と書かれる. can not の形は, You can not come. 「こなくてもよろしい」のような動詞否定の場合, および Can you not interfere, please! 「じゃましないで」のような can と not の間に別の語が介在する場合に限られる. Q136

captive

She held her niece (a) captive (or prisoner). (彼女は姪を監禁しておいた.)

[▶ a は省かれることがある.] Q1199

care

Take care that she doesn't fall. (彼女がころばないように気をつけなさい。)

[▶ doesn't fall の代わりに will not fall の形も用いられる。] Q1008

career girl

▶「キャリアガール」の意。職場における昇進を他のこと(例えば、結婚、育児など)に優先させる女性。a careers girl は「いくつかの異なる職歴をもつ女性」、あるいは、「キャリアガール担当の女性」の意となる。

Q1334

chairman

▶性差別を避けるため chairperson の形が用いられる傾向にある。 Q315

child

The woman with the child is Joan. (その子供を連れている女の方はジョーンです。)

[▶ The woman with child is Joan. は少し古風な表現ながら「あの身ごもっている女の方はジョーンです」の意。] Q1275

Christmas

at Christmas (クリスマスに)

[▶「クリスマスの季節に」ということで、「クリスマスの日に」ということではない。] Q688

clean

I'm cleaning. (今お掃除しているところなの。)

[▶この形は、「家」の掃除などのときのみ用いられ、パイプ掃除や車の手入れなどには用いない。] Q723

cold

▶「かぜ」の意の cold は、catch cold「かぜをひく」という成句以外では常に可算名詞。 Q279

colon

6:30 (6時30分)

[▶時刻を示すのに用いられる。主として《米》。《英》では6.30の形が普通。] Q1637

come

How came you to miss the train? (どう

して列車に乗りそこなったりなどしたのですか。)

[▶ How did you come to miss the train? の意の決まり文句。このような主語と述語動詞の転倒は、古い英語の名残。] Q124

Oh, come now. (まさか本気でそう言っているんじゃないでしょうね。)

[▶相手の言ったことに対する不信と拒絶を意味する表現。] Q832

committee

The committee who were responsible for this decision ... (その決定にかかわりのあった委員会は ...)

[▶複数呼応のとき、関係代名詞は who をとり、The committee which was responsible for ... のように単数呼応のときとは which をとる。] Q1246

Congressman

▶性差別を避けるため Member of Congress の形が用いられる傾向にある。 Q315

consist

consist of

The group consists of ten men and eight women. (そのグループは10人の男性と8人の女性から成り立っている。)

[▶受身形はない。] Q736

convince

I am convinced of his innocence. (私は彼が無罪であることを確信している。)

[▶that 節を従える場合は of が落ちる: I am convinced that he is innocent.] Q1223

cost

It costs ten dollars. (それは10ドルです。)

[▶これを答えとする疑問文には、How much does it cost?/What does it cost? の二つが可能。] Q735

couple

Each couple was asked to complete a form. (どのカップルも書式に記入するようにと言われた。)

▶ 「一つの単位」を示すときは単数扱い。
「二人」を示すとき複数扱い: The couple
are happily married. 「その二人は幸せな
結婚をしている。」 Q759

cup

an expensive cup of coffee (高価な一杯の
コーヒー)
▶ expensive は cup ではなく coffee を修
飾する。同様に a hot cup of tea 「熱い一
杯の紅茶」の場合も, hot は tea のほうに
かかる。] Q250

dare

The king was so hot-tempered that no
one dare tell him the bad news. (王様は
ひどく短気な人だったので, だれもその悪い
知らせを王に告げようとしなかった。)
▶ dare が現在形のままで過去形としても
用いられることに注意。] Q138

day

What was the day (that) she left (on)?
(彼女が出発したのは何日でしたか。)
▶ 文末の on は省略されるのが普通。] Q1256

decide

They haven't yet decided (on) which
flight they will take. (彼らはどの飛行機
にするかまだ決めていなかった。)
▶ 目的語が疑問詞節である場合, on はな
くてもよい。受身形になっても同様。 Which
flight they will take has not yet been
decided (on).] Q1185

decision

Our decision is that the school be not
closed. (学校は閉鎖しないというのが我々
の決定である。)
▶ be not closed は not be closed の形でも
よい。] Q157

declare

He declared the meeting official. (彼はそ
の会議が公式のものであると宣言した。)
▶ 会議の席上で, 「公式なものとしませう」

と言った場合に用いられる。 He declared
the meeting to be official. 「彼はその会
議を正式なものとする」と宣言した」は結果
的に必ず正式なものとなるとは限らない。]

Q1197

Dickens

▶ 属格形は Dickens's より Dickens' のほ
うが普通。発音は [d'ikinz] より
[d'ikinzi:] のほうが普通。 Q320

dirty

a dirty British book (よごれたイギリスの
本)
▶ a British dirty book は, 「イギリスの
ポルノ本」の意となる。] Q1341

do

Why don't you do it yourself? (どうし
て自分でそれをしないの。)
▶ くだけた言い方では, Whyncha do it
yourself? となるので注意を要する。] Q132

dot

three dots (三つ点)
▶ 文中の省略部分を示す「...」のこと。省
略が文末と重なる場合, 《米》では四つ点
「....」を用いる。] Q1636

drink

Don't drink and drive. (飲んだら乗るな。)
▶ 否定は Don't [A and B] のように A
and B 全体にかかる。「飲んで運転する
ということをするな」の意で, 「飲むことと運
転はするな」, 「飲むな, 運転せよ」などの
意ではない。] Q945

eat

Joe is eating. (ジョーは食事中だ。)
▶ Joe is feeding. 「ジョーは食べてい
るところだ」とすると, Joe は人間ではなく,
動物の名前である。] Q772

education

She has had an education. (彼女は立派な
教育を受けている。)
▶ an education は a good education の

意で、可算名詞化されている。] Q252

either

He couldn't speak, and he couldn't walk either. (彼は話すことも歩くこともできなかった。)

[▶ He couldn't speak or walk either. の形もある。ともにくだけた表現。He couldn't speak, (and) neither could he walk. / He couldn't speak, nor could he walk. も同じ意味を表すが、形式ばった言い方となる。] Q784

English

She speaks good English. (彼女は立派な英語を話す。)

[▶ *a good English とは言わない。言語名はすべて質量名詞であり、不可算名詞の扱いを受ける。] Q252

etc

The size etc are less important for our purposes. (大きさ等々は我々の目的にはあまり重要ではない。)

[▶ etc のついた単数名詞は複数形の動詞をとる。] Q759

ex-

an ex-army officer (退役将校)

[▶ 「前の」の意。ハイフンは一つのみとし、*an ex-army-officer とはしない。] Q1537

family

▶ 複数呼応をするとき、関係代名詞には who を用いる: a family who quarrel amongst themselves 「けんかの絶えない家族」。単数のときには which を用いる: a family which dates back to the Norman Conquest 「ノルマン人の征服にまでさかのぼる家柄」。 Q759

few

He wrote *few* books. (彼はほとんど本を書かなかった。)

[▶ a を伴わないとき、強勢は few と books の両方に置かれる。] Q263

find

We found the children undernourished.

(我々はその子供たちが栄養不良であることを知った。)

[▶ 「子供たちに出会ったら栄養不良の状態だった」の意。We found the children to be undernourished. 「我々はその子供たちが栄養不良であることを知った」は、調査の結果栄養不良であることが判明したの意。] Q1197

finish

I'll soon be finished with this job. (この仕事、すぐ終わります。)

[▶ finished は自動詞の過去分詞であり、したがって、be finished は、(一種の完了形であって) 受身形ではない。] Q170

fireman

▶ 性差別を避けるため firefighter の形が用いられる傾向にある。 Q315

fisherman

▶ 性差別を避けるため fisher の形が用いられる傾向にある。 Q315

following

▶ 「次の」の意。the following page を f または f. と略す。ff または ff. は the following pages の略。 Q305

for

We camped there for the summer. (我々は夏の間ずっとそこでキャンプをした。)

[▶ ... in the summer は「夏に」, 「夏の間のある時点で」の意。] Q689

I lived there for three years. (私は3年間そこに住んだ。)

[▶ 状態動詞のときは、I lived there three years. のように for を省くことができる。が、非状態動詞の場合には省かない: I taught her for three years. 「私は3年間彼女を教えた」。] Q694

She made a beautiful doll for her daughter. (彼女は娘のために美しい人形を作った。)

[▶ 人形は相手に届いているかどうか不明。

She made her daughter a beautiful doll.
「彼女は娘に美しい人形を作った」は、通例、
届いていることを示す。] Q697

forget

I forgot to go to the bank. (私は銀行へ
行くのを忘れた。)

[▶「銀行へ行く予定でいたのにそれを忘れ、
行かずじまいになった」の意。] Q1193

I forgot (about) going to the bank. (私
は銀行へ行ったことを失念していた。)

[▶この場合、 about はあるのが普通。「銀
行へ行くべきであったのを失念していた」
の意になることもある。] Q1193

forgivable

The error is forgivable. (その間違いは大
目に見ることができるものだ。)

[▶人を主語にして *The man is forgiv-
able. のように用いることはできない。]
Q1556

get

We've gotten tickets. (我々は切符を入手
した。)

[▶《米》. We've got tickets. の形は「我々
は切符を持っている」の意となる。] Q113

How did that window get opened? (ど
うしてその窓は開けられたのだろうか。)

[▶「当然閉まっているはずの窓なのに」の
含意がある。 get による受身には不賛成・不
快感が込められていることが多いので、
He was taught a lesson on the subjunc-
tive (by our new teacher). 「彼は (新任の
先生から) 仮定法の授業を受けた」はよい
が、 ? He got taught ... は少しおかしく
なる。] Q161

Get it (=Did you get it)? (手紙・買物
の品など) お受け取りになりましたか。)

[▶場面によっては「お分かりですか (=Do
you understand?)」 の意ともなる。]
Q895

They got him angry. (彼らは彼を怒らせ
た。)

[▶「あのおとなしい彼をとうとう怒らせて
しまった」の含み。 They got him to be
angry. 「彼らは彼を怒らせた」は「怒らな
ければだめだと言いきかせてやっと怒らせ
た」の含み。] Q1197

glass

a nice glass of whisky (ありがたい一杯の
ウィスキー)

[▶ nice はウィスキーの質に言及しているの
ではなく、話し手の気持を示しているもの。]
Q251

go

How goes it? (どうです。 / 景気はどうだ。
 / いかがお過ごしですか。)

[▶ How are you doing? の意の決まり文
句。主語と述語動詞の転倒は、古い英語の名
残。] Q124

government

The government have broken all their
promises. (政府はその約束をすべて破った。)

[▶ the government は特に《英》では、し
ばしば複数扱い。複数代名詞 their にも注
意。《米》では単数扱い。] Q757-8

had

had better

Had we better not go? (行かないほうが
いいかしら。)

[▶ Hadn't we better go? の形は「行くほ
うがいいんじゃないかしら」の意となる。]
Q141

You had better try it again. (あなたは
それをもう一度やってみたほうがよい。)

[▶ You better try it again. / Better
try it again. の形を取ることもある。]
Q893

half

one and a half days (一日半)

[▶ 複数扱いに注意。 more than one day
「二日以上」は単数扱い。] Q297

One and a half years have passed since
we last met. (我々がこの前会ってから一

年半が過ぎた。)

▶ 1.5 は1以上であるから複数動詞をとる.]

Q763

A year and a half has passed. (一年半が過ぎた。)

▶ a year and a half が一つのまとまった単位と考えられているので単数扱い.]

Q763

I'm not half satisfied. (私はほんの少し満足しているだけです。)

▶ この場合, half に強勢があり, 下降調で発音される。satisfied に強勢を置き, 下降上昇調で発音すると「私はとっても満足です」の意となる。]

Q1607

hate

I hate the clock to chime. (時計がチャイムを鳴らすのっていやですね。)

▶ 例えば, 寝入りばなに起こされてしまうというときなど。I hate the clock chiming. 「時計のチャイムが鳴るようになっているってのはいやですね」は, 例えば, 一晩中うるさくて, というような場合。]

Q1195

I hate the children to quarrel. (子供たちがけんかするっていやなものだ。)

▶ 「いつもは仲がよいのに, それでも, たまにはけんかすることがあって」の含み。I hate the children quarrelling. 「子供たちがけんかしているのはやなものだ」は「子供たちがしょっちゅうけんかをしているのは」の含み。]

Q1195

I hate my friends leaving early. (友だちが早々と帰って行くのはいやです。)

▶ この文は I hate my friends. を含意しない。他方, I saw him lying on the beach. 「私は彼が浜辺に寝そべっているのを見た」は I saw him. を含意する。]

Q1206

have

▶ 過去分詞としての had は Have you had lunch? 「お昼もうお済みですか」のような本動詞としての用法, および, They have

had to sell their car. 「彼らは車を売却せざるをえないことになった」のような have to の用法に限られる。

Q131

▶ We haven't any money. 「私たちはお金を持っていない」/Have you a lighter? 「ライターお持ちですか」のように have を変則定形動詞として用いるのは本来《英》であるが, 現在では次第に用いられなくなってきた。特に Had she any news? 「彼女, 何か新しいことありましたか」のような過去形の場合, この傾向が著しい。いずれの場合も, 助動詞の do を用いることになる。

Q131

Did she have her baby at the clinic? (彼女は赤ちゃんを病院で生んだのですか。)

▶ 《米》では Had she got her baby at the clinic? 「彼女は病院で赤ちゃんといっしょでしたか」の意となる。]

Q132

Do you have bad headaches? (あなたひどい頭痛持ちですか。)

▶ 習慣を示す。Have you got a bad headache? 「頭がひどく痛いのですか」というと現在の状態を尋ねることになる。]

Q132

have to

Do we have to get up early tomorrow? (明日は早起きをしなければなりませんか。)

▶ have to の疑問文は《米》では do を用いる。《英》でも Have we to get up early tomorrow? よりも do を用いた形のほうが優勢。]

Q145

Jim's got to check the temperature every 12 hours. (ジムは12時間おきに温度をチェックすることをしなければならない。)

▶ 「現在そういう仕事についている」の意。Jim has to check the temperature every 12 hours. 「ジムは12時間おきに温度をチェックしなければならない」だと「これからそういう仕事をするよう命令を受けている」の意となる。]

Q145

Someone has to be telling lies. (だれかがうそを言っているはずだ。)/You have

to be joking. (じょうだん言ってるんですよ.)

[▶ must と同じ推量を表す have to の用法は《米》用法と考えられていたが、現在では《英》でもみられる.] Q145

There has to be a first time for everything. (ものにはすべて、はじめてとということがあるものだ(初めから二度目ということはありません).)

[▶ このような強い論理的必然性を示す have to は must より意味が強く、must で置き換えることはできない.] Q146

headache

▶ 「頭痛」の意。修飾語の有無にかかわらず常に可算名詞。 Q279

health

She is in good health. (彼女は健康です.)

[▶ She is healthy. には、より永続的な健康状態という含意がある.] Q733

here

Here we are. (あ、ここにいたのね(あ、見付けた).)

[▶ この場合、here に強勢があり、下降調で発音される。are に強勢を置き、下降調で発音すると、「ほら(目的地に)着きましたよ」の意となる。また、here に強勢を置き下降上昇調で発音すると「ほら、これあなたにあげます」の意となる.] Q1607

hope

I hope that the parcel comes in time. (私は小包が早く来るといいなあと思っている.)

[▶ that 節の中が現在形である点に注意.] Q1008

He hopes for success. (彼は成功を望んでいる.)

[▶ hope が名詞の場合、前置詞は for でなく、of となる: his hope of success.] Q1179

hostess

airline hostess

▶ 現在では用いられない。代わりに flight attendant が用いられる。 Q315

housekeep

▶ housekeep の形では用いられるが、その他の屈折変化形では用いられない: *She housekept. Q1579

housewife

▶ 性差別を避けるため、housemaker の形が用いられる傾向にある。 Q315

how

How does it work? (それはどういうふうになりますか.)

[▶ 「それは結果的にはどうなりますか」の意にもなる.] Q819

How come you're so late? (どうしてそんなに遅くなったの.)

[▶ How does it come about (that) you're so late? と等価で、理由を尋ねるのに用いられる。《米》に多い.] Q840

How about that? (そうだったの.)

[▶ 驚きを示す。相手の言ったことに賛成のときにも不賛成のときにも用いる。主として《米》.]

A: Fred and Pam have just got married. (フレッドとパムが、ついこの間結婚したよ.)

B: Well, how about that? (そう、そうだったの.)] Q841

How could you? (なんてことしてくれたの。/なんてこと言うの.)

[▶ 場面から分かる相手のへまなどをとがめるときの決まり文句.] Q895

and how

A: We had a cold winter last year. (昨年の冬は寒かったね.)

B: And how! (全く.)

[▶ この場合、and how は「全くのところ」の意.] Q835

hungry

Am I hungry! (ああ腹へった.)

[▶ 形は疑問文だが意味は感嘆で、感嘆符(!)-

を用い、下降調を用いる。] Q825

if

If necessary, he will take notes for you.
(もし必要があれば、彼はあなたに代わって
ノートを取るでしょう。)

[▶ if 節の中の意味上の主語は、主節全体。]
Q1005

if and when

If and when he buys a car, I'll try to
persuade him to buy the insurance from
me. (彼が車を買うというのなら、私は彼を
説き伏せて私から保険を買うようにさせよ
う。)

[▶ if and when は when のみを用いた場
合にみられる期待感を薄める働きをする。]
Q970

imagine

I imagined myself severely ill. (私は自分
が重病だったらと想像してみた。)

[▶ 単にその状態を想定してみたの意。 I
imagined myself to be severely ill. 「私
は自分が重病だと考えた」は自分は病気では
ないかと常に気に病んでいる人が誤って
自分は重病であると思ひ込むような場合。]
Q1197

in

We'll meet in three months' time. (3か
月経ったらお会いしましょう。)

[▶ 「今から数えて3か月経過した時点で」
の意。 He finished the job in three
months. は「仕事を始めてから3か月の間
に」の意。] Q688

is

Your place is over there. (あなたのお席
はあちらです。)

[▶ 歯擦音のあとの is は *Your place's
over there. のように縮約して書くことはで
きない。] Q129

Jesus

属格形は Jesus' (or Jesus's) で、発音は
[dʒiːzəs] が普通。 Q321

Jones

▶ 属格形は Jones's より Jones' のほうが
普通。発音は [dʒounz] より [dʒɔunziz]
のほうが普通。 Q320

know

I don't know how many people he asked.
(私は彼が何人の人に聞いたのか知らない。)

[▶ 順序を変え、He asked I don't know
how many people. とすると、「正確な数
は分からないが、彼はかなり多くの人に聞い
た」の意となる。] Q1337

last

the last two pages (最後の2ページ)

[▶ the two last pages は「2冊の本のそ
れぞれの最後のページ」の意となる。] Q262

let

Let's go. (さあ行きましょう。)

[▶ 一人称の命令。付加疑問は shall we?
で、Let's go, shall we? となる。Let us
go. 「我々を行かせてください/我々を放
してください」は二人称の命令文で縮約で
きない。付加疑問を加えると、Let us go,
will you? となる。] Q830

Let's have a look. (ちょっと見てみよう。)
[▶ 話し手が自分一人のことだけについて言
う場合にも用いる。] Q830

lightning

It is lightning. (稲光りがしている。)

[▶ lightning の現在分詞形は本来なら
*lightninging となるべきであるが、語幹が
すでに接辞のような -ing をもっているの
で、例外的に lightning のままである。] Q99

like

What was it like? (それは何に似ていま
したか(それはどんな形をしていましたか).
/それはどんなふうでしたか。)

[▶ *Like what was it? の形は用いられ
ない。] Q818

Would you like to see my stamp collec-
tion? (私の切手収集ご覧になりますか。)

[▶ まだ生じていない仮定的なことを表すに

は不定詞を用いる。この場合、動名詞は用いられない。] Q1192

The man like John is over there. (ジョンに(姿が)似ている人があそこにあります。)

[▶ A man like John would never do that. は「ジョンのような(性格の)人ならあんなことは決してしないであろう。」]

Q1275

line

▶ 「行」の意。I または l. と略す。II または ll. は複数形 lines の略。 Q305

little

He wrote little poetry. (彼はほとんど詩を書かなかった。)

[▶ a を伴わないとき、強勢は little と poetry の両方に置かれる。] Q263

a little cake (小さなお菓子)

[▶ この表現はあいまいで「少しばかりのお菓子」の意にもなる。] Q264

look

She looked me in the eye and told me the whole story. (彼女は私の目をじっと見て、すべてを話してくれた。)

[▶ She looked in my eye. 「私の目をのぞきこんだ」は眼科医のすること。] Q271

mailman

▶ 性差別を避けるため、mail carrier の形が用いられる傾向にある。 Q315

make

She made him a good wife. (彼女は彼のよい奥さんになった。)

[▶ 「彼女は彼のよい妻であった」の意で、受身は不可能。She made him a good husband. 「彼女は彼をよい夫に(教育)した」は受身可能: He was made a good husband.] Q1200

man

▶ 「人類」の意。この意味で men の形が用いられることもある。Men have been on this planet for over a million years. 「人類はこの惑星の上に100万年以上も住んでい

る」。反意語は無冠詞の beast である。

Q282

many

Many a member has protested against the proposal. (多くの会員がその提案に反対した。)

[▶ 主語は概念的には複数であるが、中心語が単数形 a member であると考えられるため単数呼応が好まれる。] Q758

Many people did not go to the party. (たくさんの人々がそのパーティに行かなかった。)

[▶ 欠席者が多かった場合。] Q779

Not many people went to the party. (そのパーティへ行った人々は多くなかった。)

[▶ 出席者が少なかった場合。] Q779

marry

Finally we got married. (ついに我々は結婚した。)

[▶ 人間についてのみ用いられ、動物について、例えば、*Finally the snakes got married. のように用いることはしない。]

Q772

Mary

▶ 複数形は Marys で *Maries ではない。cf. sky ~ skies. Q305

mean

Then you add the peaches—I mean, the apricots ... (それから桃—いや、あんずを加えます ...)

[▶ I mean は話し手が自分の言ったことばを訂正するのに用いる決まり文句。] Q1313

mile

He ran a mile. (彼は1マイル走った。)

[▶ a mile は目的語とも副詞句とも解される。総称文では受身文の主語となることができる: A mile can't be run in two minutes. 「1マイルは2分では走れない。」]

Q735

Miss

▶ 呼び掛け語として用いるのは主に《米》。

人名, 例えば, Alice Jones に関して用いる場合は, 最近では, Miss Jones と言い, *Miss Alice という形は正式な呼称としては通例用いられない。 Q1320

more

More than one member has protested against the proposal. (複数の会員がその提案に反対した。)

[▶ 主語は概念的には複数であるが, 中心語が単数形 one member であると考えられるため単数呼称が好まれる。] Q758

Moses

▶ 属格形は Moses' (or Moses's) で, 発音は [móuziz] が普通。 Q321

mutter

'I am ill', she muttered. (「私は病気だわ」と彼女はつぶやいた。)

[▶ mutter は間接話法を導くのに用いられる: She muttered that she was ill. mumble, whisper も同様。] Q1182

name

The selectors named her (to be) a member of the touring team. (選考会は彼女を遠征チームの一員に指名した。)

[▶ これから生ずることについては to be が用いられる。ただし, この to be は省くことができる。] Q1199

Her parents named her Mary. (彼女の両親は彼女にメアリーと命名した。)

[▶ *Her parents named her to be Mary. のようにすることはできない。] Q1199

need

She has too nervous to reply, but fortunately she did not need to say anything. (彼女はあまりにもおどおどして返事ができなかった。が, 幸いなことに, 彼女は何か言う必要がなかった。)

[▶ She need not have said anything. と書き換えることはできない。「(実際はしゃべってしまったのだが)しゃべる必要はなかった」という事実と反する含意を伴うこ

とになるからである。] Q139

neither

neither ... nor

▶ 二つの完全文をつなぐことはできない:

*Neither Peter wanted the responsibility, nor his wife did. Q938

nice

This room is nice and warm. (この部屋はちょうどいい暖かさだ。)

[▶ この nice and は warm の度合いが「ちょうど適切である」の意を示す。] Q979

night

at night (夜に)

[▶ night を時の一点と考えた表現。] Q688

no

He is no teacher. (彼は先生なんて言えたものじゃない。)

[▶ 先生である人について, その技量の欠如していることを意味する。He is not a teacher. 「彼は先生ではない」は, 彼が先生という職業についているのではないということの意味する。] Q779

not

Hadn't she grown! (なんと大きくなったことか。)

[▶ 形は疑問文であるが, 下降調で発音され, 内容的には感嘆文であり, 感嘆符 (!) を付する。縮約形でない not を用いると, 単なる質問の文となる: Has she not grown? 「彼女はまだ子供か。」] Q825

I think not. (私はそうではないと思う。)
/I suppose not. (私はそうではないと思う。)

[▶ この用法の not はやや形式ばったもので, 通例, I don't think so. /I don't suppose so. の形を用いる。] Q881

now

Now for a good hot bath! (さあ気持ちのいい熱い風呂だ。)

[▶ この now for は, 待ち望んでいたものが, もうすぐかなえられそうになっているときに用いられる。] Q842

nowhere

It can't be found anywhere (=It's nowhere to be found). (それはどこにも見当たらない.)

[▶ 助動詞を含むこの形は普通に用いられるが、助動詞を含まない I found it nowhere. /I've found it nowhere. はあまり用いられない.] Q784

number

Are you in Number 103? (あなた 103号室ですか.)

[▶ *Are you in the number 103? の形は用いられない.] Q1317

o'clock

▶ 毎正時についてのみ用いられる. at 7 o'clock 「7時に」はよいが、*at 7.15 o'clock は用いられない. また、o'clock は a.m./p.m. とともに用いることはできない. at 9 o'clock in the evening. 「夕方7時に」はよいが、*at 9 o'clock p.m. は用いられない. Q1293

on

on Monday (月曜日に)

[▶ on は「日」について用いる. on May (the) first 「5月1日に」, on New Year's Day 「元旦に」. 「日」よりも短いか、長い単位のとときは in を用いる. in the evening 「夕方に」, in August 「8月に」, in 1988 「1988年に」など. on Monday morning 「月曜日の朝」や on Saturday afternoon 「土曜日の午後」などは例外的用法である.] Q688

On Sunday(s) we usually go for a walk. (日曜日に我々はいつも散歩に出かける.)

[▶ 前置詞を省いて Sunday(s) ともいう. 「毎日曜日に」は every Sunday で *on every Sunday は用いられない.] Q694

one

▶ 先行名詞の重出を避けるために用いられる one は、先行名詞と後行名詞が形だけでなく、意味も同じである場合に限られる: I

hurt my nail while hammering a nail into the wall. 「壁にくぎを打ち込んでいるとき、つめを痛めた」はよいが、これを I hurt my nail while hammering one into the wall. とすることはできない. 先行名詞の nail とそれを受ける one とが同じ意味でないからである. Q864

one of his father's friends (彼の父の友人の一人)

[▶ a friend of his father's と通例同義. ただし、友人が一人の場合も、a friend of his father's は使えるが、one of his father's friends は二人以上いる場合に限られる.] Q1283

one ... one's

One should choose one's friends carefully. (人はその友を注意深く選ぶべきだ.)

[▶ 《米》では One should choose his friends carefully. も用いられる. が、言語における性差を避けるため、We should choose our friends carefully. の形がしだいに多用される傾向にある.] Q770-1

only

Only two of us had any experience in sailing. (ヨット競技の経験があるのは我々のうち二人だけだった.)

[▶ only は否定文脈を生じ、any を伴うが、倒置は起こさない.] Q781

Only on Sundays do they eat with their children. (彼らが子供たちと一緒に食事するのは日曜日だけです.)

[▶ 主語以外の文頭要素に only が伴うと、倒置を引き起こすことがありうる.] Q781

Only some of us had any experience in sailing. (ヨット競技の経験があるのは我々のうちの何人かだけだった.)

[▶ only が修飾する語句の中に some が生ずることはできる. しかし、any は生ずることができない. *Only any of us had any experience in sailing. ただし、Scarcely (or Hardly) any of us had any experi-

ence in sailing. 「ヨット競技の経験のあるものは、我々の中にはほとんどだれもいなかった」の形はよい.] Q781

not only A but B

▶ 情報構造上、A も驚くべきことであるが B はさらに驚くべきことである旨を伝える構文. Q941

or

You can sleep on the couch in the lounge or you can go to a hotel. (あなたはラウンジの長いすの上で寝てもよいし、ホテルに行ってもよい.)

[▶ A or B という表現は、通例、A か B のどちらか一方だけが選択される場合に用いられる. が、You can boil an egg, (or) you can make some sandwiches, or you can do both. 「あなたは卵をゆでてよいし、サンドイッチを作ってもよし、あるいは、両方してもよい」のような場合には、A と B とが、ともに選択されうることを示している.] Q932-3

He doesn't have long hair or wear jeans. (彼は長い髪でもなく、ジーンズもはいていない.)

[▶ not の後に or があると、He doesn't have long hair and he doesn't wear jeans. のように二つの否定文を and で結んだ文と等価の意味になる.] Q937

or so

a glass of beer or so (ビールを一、二杯)
[▶ a glass or so of beer ともいう. another chair or so 「いすをもう一つ二つ」はよいが、数量詞の意味が薄い *a chair or so ということはできない.] Q981

page

▶ 「ページ」の意. p または p. と略す. pp または pp. は pages の複数形. Q305

painting

a painting of my sister's (私の妹 (姉) が描いた絵 /... の所有している絵)
[▶ a painting of my sister は「... をモ

デルにして描いた絵」.] Q1284

pardonable

The error is pardonable. (その間違いは大目に見ることができるものだ.)

[▶ 人を主語にして *The man is pardonable. のように用いることはできない.] Q1556

PhD

▶ 複数形は PhD's でも PhDs でもよいが、アポストロフィのない PhDs の形が多くなりつつある. Q305

poetess

▶ 現在では用いられない. 代わりに poet が用いられる. Q315

poor

the poor (貧者)

[▶ 単に people を補って the poor people 「その貧しい人々」とすると意味が少し異なる. the poor は総称的で、people を用いて表すなら poor people に相当する.] Q866

poultry

Where are your poultry? (君のにわとり (たち) はどこにいるの.)

[▶ Poultry is harder to come by nowadays than beef. 「このごろ鳥肉は牛肉より手に入りにくい」のように「食肉」の場合は単数扱い.] Q304

prefer

Jack prefers for his wife to drive the truck. (ジャックは奥さんがトラックを運転するのがいいと思っている.)

[▶ for を用いる構文は主に《米》.]

Q1193

prison

go to prison (入獄する)

[▶ この場合、無冠詞. walk around the prison 「刑務所の周りを散歩する」などのときは the が必要.] Q277

promise

Sam promised me to get some food. (サムは食べものを少し手に入れてきてくれる

と言った.)

[▶ この場合, me のない形のほうが普通.]
Q1216

rather

She puts such vitality (or rather virility) into her play. (彼女の芝居には力強さ (というより男性的活力) がみなぎっている.)
[▶ or rather は, 自分の用いた表現の訂正に用いられる.] Q1313

rather than

▶ than の次にくる要素は, その前にある要素と同じ資格のものである限り, 節でも不定詞でもよい. They were screaming rather than singing. 「彼らは歌っているというよりは金切り声をあげているだけだった」 / He wanted to sunbathe rather than (to) swim. 「彼は泳ぐよりは日光浴をしたいと思った」. Q1003

reason

Is that the reason they came? (それが彼らの来た理由ですか.)
[▶ Is that why they came? の形も用いられる. Is that the reason why they came? の形は冗語的であるため避けられる.]
Q1256

regret

I regret telling you that John stole it. (ジョンがそれを盗んだとあなたに話してしまったことを私は悔いています.)
[▶ この文はあいまいで, 「こうして今お話しするのを残念に思います」の意にもなる.]
Q1193

I regret to tell you that John stole it. (ジョンがそれを盗んだことをお話ししなければならないのを残念に思います.)
[▶ 「これからお話しする羽目になっているのを」の意.] Q1193

remember

I remembered filling out the form. (私はその書式に記入したのを思い出した.)
[▶ 「すでに記入したことを思い出した」の

意.] Q1193

I remember to fill out the form. (私はその書式に記入するのを思い出した.)
[▶ 「記入することになっていたのを思い出し, 記入した」の意.] Q1193

room

Are you in Room 103? (あなた 103号室ですか.)
[▶ *Are you in the Room 103? の形は用いられない.] Q1317

Ross

▶ 属格形は Ross's [rósiz] theories 「ロスの理論」の形が普通. Q320-1

run

She ran to me. (彼女は私のところまで走ってきた.)
[▶ She ran at me. は「私を目がけて襲いかかってきた」の意.] Q697

's

1990's (1990年代)
[▶ 誤解のおそれのないとき, アポストロフィを省き 1990s とすることが多い.] Q1636

same

the same

▶ the same は「同一のこと, もの, 状態, 行為」に言及するのではなく, 似たような別のことがらに言及するものである点に注意. Tom phoned for the doctor, but didn't realize that his mother had just done the same. 「トムは医者に往診を頼む電話をしたが, お母さんも今しがた電話したとは知らなかった」. この the same は so で置き換えることができる. しかし, Tom phoned for the doctor, but didn't tell his mother he had done so. 「トムは医者に往診を頼む電話をしたが, 彼が電話をしたことをお母さんには話さなかった」の場合は, 同一のことに言及し, the same を用いることはできない. Q873

A: Can I have a cup of black coffee with sugar, please? (お砂糖の入った

ブラックコーヒーを一杯ください。)

B: Give me the same, please. (私にも同じものをください。)

[▶ the same は先行する名詞句 a cup of black coffee with sugar の代わりをしている。] Q873

The soup smells delicious, and the turkey smells the same. (そのスープはおいしいにおいがする。そして七面鳥も同じだ。)

[▶ the same は先行する形容詞 delicious の代わりをしている。] Q873

Yesterday I felt under the weather, and today I feel the same. (昨日は少々かげんが悪かった。今日も同じだ。)

[▶ the same は先行する前置詞句 under the weather の代わりをしている。] Q873

I invited Dr Jones to see me, and was visited by the same at 3 p.m. (私はジョーンズ博士をお招きした。そして、午後3時に彼はやって来た。)

[▶ 「その当人」を意味する。この用法は現在ではまれ。法律用語、お役所英語的響きがある。] Q874

say

What say you, Peter? (ピーター、君の考えはどうかね。)

[▶ What is your opinion, Peter? に当たる決まり文句で、主語と述語動詞の転倒は古い英語の名残。] Q124

'I wonder', Mary said, 'whether I can borrow your bicycle.' (「あなたの自転車をお借りできますかしら」とメアリーは言った。)

[▶ she said および said Mary の形はよいが、said she の形は古形。] Q1022

She said to come before ten. (10時前に来るようにと彼女は言った。)

[▶ say は to 不定詞を伴って、軽い命令を示すのに用いられる。She told us to come before ten. と同義。] Q1181

school

go to school (登校する)

[▶ visit the school 「学校を訪問する」のようなときは the が必要。] Q277

see

I'll see that nobody disturbs you. (だれもあなたのじゃまをしないように気を配りましょう。)

[▶ disturbs の代わりに will disturb も用いられる。] Q1008

shoot

She shot him. (彼女は彼を射殺した。)

[▶ She shot at him. は「彼女は彼を目がけて撃った」の意で、弾が目標を外れたときにも用いられる。] Q697

should

I'm surprised that he should feel lonely. (彼がさびしがる(ことがある)なんて驚いた。)

[▶ I'm surprised that he feels lonely. のように現在形だと、彼がさびしがっていることを事実であると認めていることになる。] Q1014

I was surprised that he should feel lonely when he was in California. (彼がカリフォルニアでさびしがったなんてびっくりした。)

[▶ should feel は過去の事柄に言及している。] Q1015

I regret that he should be so stubborn. (彼があんなにがんこだとは残念なことだ。)

[▶ この形は《英》に多く、仮定法現在を用いた I request that she go alone. 「私は彼女が一人で行くようお願いする」の形は《米》に多い。《英》で仮定法現在を用いると固苦しい表現となり、公文書などに多い。] Q1180

shout

He shouted to me. (彼は私に(何かを伝えようとして)大声で叫んだ。)

[▶ He shouted at me. は「彼は私をどなりつけた」の意となる。] Q697

shriek

She gave a shriek. (彼女は思わず叫び声をあげた。) / She had a good shriek. (彼女は思う存分叫び声をあげてみた [おもしろがって].) / She did a (good) shriek. (彼女は力いっぱい叫び声をあげてみせた [芝居の観客の前などで].) Q752

sight-see

▶ sight-see の形では用いられるが、その他の形では用いられない: *They sight-saw. Q1579

since

I have lost ten pounds since I started swimming. (私は水泳を始めてから目方が10ポンド減った。) [▶ くだけた英語では I lost ... の形も用いられる.] Q1015

sir

▶ 称号として用いる場合、相手が John Spencer という名前の人であったら、Sir John Spencer か Sir John の形を用い、*Sir Spencer の形は用いない。 Q1320

so

It may be so. (それはそうかもしれない。) / This must be so, because ... (これはそうなるはずだ。だって ... だから。) / That is so. (それはそのとおりだ。) [▶ 以上三例の so は true, the case の意味で、so は他の形式の代用形ではない。] Q880

A: It's past midnight. (真夜中過ぎたよ。) B: So it is. (あら、本当だわ。) [▶ この so は、相手の言ったことに驚いた確認を与えるのに用いられる。] Q883

speak

She spoke about butterflies. (彼女はちょうについてしゃべった。) [▶ ... on butterflies だと「講演した」の意となる。] Q710

spokesman

▶ 性差別を避けるため spokesperson の形

が用いられる傾向にある。 Q315

start

He started to speak, but stopped because she objected. (彼は話し始めようとしたが、彼女が反対したのでやめた。) [▶ この場合、不定詞にはためらいの気持ちがある。 He started speaking, and kept on for more than an hour. 「彼は話しを始めた。そして、1時間以上も続けた」のように動名詞を用いると、確固たる態度が感ぜられる。] Q1192

stomachache

On and off she suffers from a stomachache. (時々お腹が痛い彼女は訴えている。) [▶ 主として《米》用法。《英》では無冠詞、または、the stomachache の形が用いられる。] Q280

stop

Why are all those cars stopped at the corner? (あの車、どうしてみんな角のところにとめてあるの。) [▶ stopped は自動詞の過去分詞であり、したがって、are stopped は受身形ではなく、「とまっている」、「とめてある」の意を表す。] Q170

strike

strike ... as
She struck me as happy. (彼女は満足しているように思われた。) [▶ 受身形はない。] Q736

sugar

White and brown suger are equally acceptable for this recipe. (この料理の調理には白砂糖でも赤砂糖でもよろしい。) [▶ and で結ばれた二つの質量名詞が主語の場合は、その動詞は複数形をとる。] Q760

suppose

Suppose he loses his way. (彼が道に迷ったとしてみよう。) [▶ 目的節の中が現在形である点に注意。] Q1008

be supposed to

He is supposed to be here at ten. (彼は10時にはここにきていることになっている。)

▶ ここで用いられている助動詞的な is supposed to は [...s(ə)pəʊstə] のように発音される。] Q145

take**take it that**

I take it that you are enjoying yourselves. (あなたがた十分に楽しくやっていますよね。)

▶ この場合, it を省くことはできない。]

Q1184

that

▶ 先行名詞の代用として用いられ, 制限的関係詞節を伴う。Victim's own blood was of a different blood group from that found on the floor. 「被害者自身の血液は床に見い出された血液型とは異なるものであった」。ただし, 先行名詞が人のときは用いられない。*The blonde girl I saw was older than that you were dancing with. that の代わりに the one ならよい。また those who ... はよいが, *that who ... の形は用いられない。他方, *that that ... の形は用いられないが, those that ... はよい。 Q872-3

the

A: I used to know John Lennon quite well. (ぼくはジョン・レノンをよく知っていたものだ。)

B: Surely you can't mean the [ði:] John Lennon? (まさかあの有名なジョン・レノンじゃないでしょうね。)

▶ この場合, the は「あの有名な」の意。]

Q289

there

There you are. (そこにいたのか(見付けたぞ)。)

▶ この場合, there に強勢があり下降調で発音される。この文は there に強勢を置き,

下降上昇調で発音されると, 「ほら, これあなたにあげます」の意となる。また, are に強勢を置き下降調で発音すると, 「ほら分かったでしょう(私の言ったとおりでしょう。)」の意となる。] Q1607

through

We camped there (from) June through September. (我々は6月から9月中そこでキャンプをした。)

▶ 9月を含む。他方, ... June to September の形は9月を含むかどうか明白でない。]

Q690

throw

at a stone's throw (石を投げて届くところに)

▶ at a stone's throw の強勢は stone's のほうに置かれる。] Q326

till

▶ 前置詞としては until のほうがより好まれる。 Q691

When are you staying till? (あなたはいつまで御滞在ですか。)

▶ until を文末に置く用法はない: *When are you staying until?] Q817

time

What's the time she normally arrives (at)? (彼女がいつも到着するのは何時ですか。)

▶ 文末の at は省略されるのが普通。]

Q1256

try**try and**

Try and see him tomorrow. (明日彼に会うようにしてごらんください。)

▶ try and see における try の変化形は非文法的となる: He may try and see us tomorrow. 「彼は明日我々に会おうとするかもしれない」 / They try and see us every day. 「彼らは毎日我々に会おうとしている」 / *He tired and saw us yesterday.] Q979

twenty

▶ We are twenty. は通例「我々は20才だ」を意味するが, How many are you? 「あなた方, 何人ですか」に対する答えとしてなら「私たちは20人です」の意にもなる. しかし, この場合も, 通例は There are twenty of us. の形が用いられる. Q1325

unmask

The robber was unmasked. (そのどろぼうは覆面をはがされた.)

[▶ この文は, 「そのどろぼうは覆面をしていなかった」の意ともなる. この場合は, masked に un- の付いた形である.] Q1521

unoccupied

The building was unoccupied. (その建物には人が住んでいなかった.)

[▶ The building wasn't occupied. もほぼ同義であるが, unoccupied を用いると, 「通例は人が住んでいるべきであるのに」の含意が伴う.] Q1541

until

We slept until midnight. (我々は真夜中まで眠った.)

[▶ 「真夜中に目を覚ました」の意. We didn't sleep until midnight. 「我々は真夜中まで眠らなかった」は「真夜中に眠りについた」の意となるが, 文脈によっては「我々は真夜中まで眠っていたのではなく, それ以前に目を覚ました」の意ともある.] Q691

up

up to

We worked up to Christmas. (我々はクリスマスまで働いた.)

[▶ 通例, クリスマス自体は含まない.]

Q690

used

used to

▶ 否定文・疑問文では一般に do を用いる傾向にある. 否定文では《英》He usen't to smoke. 「彼はたばこはやらなかった」/ He used not to smoke. の形もみられるが,

《英》・《米》ともに He didn't use to smoke. / He didn't used to smoke. がみられ, 疑問文では《英》・《米》ともに, Did he use to smoke? 「彼はたばこを吸っていましたか」/ He used to smoke, didn't he? の形が普通. Q140

vermin

These vermin cause disease. (これらの害虫は病気のもとになる.)

[▶ 複数扱いに注意.]

Q304

want

You want to be careful with that saw. (そののこぎり, 気をつけましょうね.)

[▶ この want to は警告・忠告を表すのに用いられ, 常に現在形で, [wɒnə] と発音され, wanna とつづられることも多い.]

Q148

Come on : you don't want to keep them all waiting. (さあ, みんなを待たせておくもんじゃないわよ.)

[▶ want to の否定形は忠告を表す決まり文句としてよく用いられる.] Q148

-ward(s)

▶ -ward の形は《米文語》. -wards の形は《英》, 《米話》に多い. ただし, 前位修飾語のときは -ward の形が用いられる. Homeward journeys are the happiest. 「家路につくときの旅がいちばん楽しい」.

Q1556

way

That's the way he did it. (彼はそれをあいうふうにやりました.)

[▶ That's the way that he did it. の形もある. That's the way in which he did it. は形式ばった言い方.] Q1256

week

several weeks' vacation (数週間の休暇)

[▶ several weeks vacation のようにアポストロフィは省かれることがある.] Q325

what

What I say and what I think are my

own affair. (私が何を考えようと、何を言おうと私の勝手だ。)

[▶ what 節を and で結ぶと動詞は複数呼応となる。cf. What I say is my own affair and what I think is my own affair. / What I say and do is my own affair. 二つの what 節が一つのまとまったことを示す場合は単数扱いとなる。]

Q759

What we need most is books. (我々が最も必要としているのは本だ。)

[▶ What we need most are books. のように what は複数動詞と呼応することも可能。ただし、語法にやかましい人は What is needed most is books. のように what 節の中も、主節の動詞にも単数呼応を主張する。]

Q767

A: And you got off at what station?
(で、どこの駅で降りましたか。)

B: At San Diego. (サンディエゴです。)

[▶ Aのような平叙文の形の質問は、面接・尋問の際などに多く用いられる。]

Q817

What was it in? (それは何の中に入っていましたか。)

[▶ *In what was it? の形は用いられない。]

Q818

What did you do that for? (なんであんなことしたの。)

[▶ Why did you do that? の形はもちろんよいが、*For what did you do that? の形は用いられない。]

Q818

What, is the bus here already? (なんだって、バスはもうきているって?)

[▶ あとに続くのは平叙文でもよい: What, he couldn't have passed. 「なんだって、彼が合格したはずがない」。]

Q819

What! (なに、なんだって。)

[▶ What did you say? の縮約形。友だちどうしなど以外では失礼な言い方となる。]

Q836

A: I paid £1000 for that picture. (ぼく

はあの絵に1000ポンド払ったよ。)

B: What? You must be mad. (なんだって、気でも狂ったのかい。)

[▶ この what は「信じられないことだ」の意を表す。]

Q836

A: John! (ジョン!)

B: What? (なに?)

[▶ この what は下降調で発音され、「何の用か」の意を表す。]

Q837

What about it? (それがどうしたというのだ。)

[▶ 相手の言ったことが「たいしたことではないではないか」といぶかる表現。]

Q841

So what? (でどうだって言うの?)

[▶ 相手の言ったことが「たいしたことではないではないか」といぶかる表現。]

Q841

when

When did she promise to meet him?
(彼女は彼と会うことをいつ約束しましたか。)

[▶ 「彼女が彼にいつ会おうと約束したのですか」の意にもなり、「彼女は彼に何時に会う約束をしましたか」の意にもなる。]

Q822

When returning merchandise, be sure to bring your receipt. (品物を返すときは、領収書を必ず持ってきてください。)

[▶ 従節は When you return ... の意にも When you are returning ... の意にもなる。]

Q1005

When Paul returned home, his children were using the computer. (ポールが家に帰ってきたとき、子供たちはコンピューターを使っていた。)

[▶ 主節の進行形は従節と主節の出来事の同時性を示す。]

Q1020

That was the period when she lived here. (それが彼女がここに住んでいた時期でした。)

[▶ the period と when が冗語的であるため、That was when she lived here. の形が好まれる。]

Q1254

where

A: So you boarded the train where?

(それで、列車にはどこで乗りましたか。)

B: At Los Angeles. (ロスアンゼルスです。)

▶このような平叙文の形の質問は、面接・尋問の際などに多く用いられる。] Q817

That's the place where she was born.

(あそこが彼女の生まれたところです。)

▶the place と where が冗語的であるため、That's where she was born. の形が好まれる。] Q1254

who

A: Who is the captain? (だれがキャプテンですか。/キャプテンはだれですか。)

B: My brother is. (私の兄です。)

B: The captain is my brother. (キャプテンは私の兄です。)

▶who は主語とも補語とも解され、あいまいである。] Q819

A: Who was Hamlet? (だれがハムレットでしたか。)

B: My brother was. (私の兄でした。)

▶who は主語。] Q819

A: Who was Augustus? (オーガスタスというのはだれでしたか。)

B: Augustus was a Roman Emperor. (オーガスタスはローマ皇帝でした。)

▶この場合は、who が補語。] Q819

why

Why, what did she say? (えっ、彼女がなんて言ったって?)

▶あとに続くのは平叙文でもよい: Why, they won't object. 「えっ、彼らは反対なんかしませんよ」。] Q819

Why do you bother to reply? (どうしてわざわざ返事をしたりなんかするの。)

▶「あなたは返事をしているが、そんなことわざわざすべきではない」の含意がある。

Why did you bother to reply? のように過去形になると、このような含意はなくなり、「どうして、わざわざ返事をしたのですか」という単なる質問の意となる。] Q820

Why bother to reply? (どうしてわざわざ

返事なんかするの(そんなこと、おやめなさい)。)

▶why のあとに to なし不定詞が続く場合は、常に単なる質問ではなく、指図・忠告などを示す。] Q820

Why don't you take sleeping tablets?

((みんな使っているんだから) 睡眠薬を飲んだらいいのに。)

▶忠告を示すが、いらだちが含まれていることも多い。] Q821

Why don't you come for a meal one day next week?

(来週のいつか食事に来ませんか。)/Why don't you shave?

(ひげをそったらどうですか。)/Why don't you go by train?

(列車で行ったらどうですか。)

▶Why don't ...? は勧誘・忠告・指図などを示す。Why not go by train? のように省略した形も用いられる。省略のない形は、単なる質問の意味でも用いられるが、省略形は単なる質問の意味で用いられることはない。] Q821

with

My car had been damaged with the branch of a tree. (私の車は木の枝で傷がついた。)

▶同じく道具の意味を表す場合でも ... by the branch of a tree のように by が用いられると、人間が介在し、with のときは人間が介在しない。] Q700

worth

People don't get their money's worth. (人々は払っただけのものを得ていない。)

▶money's worth の強勢は money のところに置く。] Q326

you

Are you cosmetics? (ここ化粧品ですか。)

▶デパートの売場で、省略形として用いられる。] Q248

Are you 105? (おたく 105号室ですか。)

▶ホテルなどで、省略形として用いられる。]

Q248

your

Your fairness and your impartiality
have been much appreciated. (あなたの公
正さと公平さは高く評価されてきました。)

▶ and で結ばれた二つの主語名詞にそれぞ
れ your がつくと複数動詞と呼応する。]

Q761